

大館周辺地域総合開発促進協議会の設立総会が、去る7月28日、市役所で開かれ、この日をもって正式に発足することになりました。

この協議会は、大館市、比内町、花矢町および田代町における総合的な地域開発を促進し、近代的な地方自治の確立と住民福祉の増進をはかるため設立されたものです。

協議会の構成は、会員として、大館市長、比内町長、花矢町長および田代町長をはじめ、一市三町の議長、商工会頭や、学識経験者など27人、顧問としては、秋田県知事、県内選出の国会議員など17名、合計44名で構成されており事務局を市役所に置き、大館周辺の産業の振興発展等のため、それに必要な総合開発計画の策定や、その実施の促進をはかることになりました。

なお、この設立総会では、会則、予算開発計画策定要綱等を原案どおりきめ、役員もつぎのようにきまりました。

## 大館周辺地区総合開発促進協議会



7月28日に発足す

- |     |                 |      |                       |
|-----|-----------------|------|-----------------------|
| 会 長 | 大館市長            | 佐藤敬治 | 一郎, 小笠原正二, 富樫清,       |
| 副会長 | 比内町長            | 畠山重勇 | 緑川正雄, 野口弘, 千葉久右       |
| "   | 花矢町長            | 山本常松 | エ門, 山本常三郎, 浅利辰雄       |
| "   | 田代町長            | 吉田季吉 | 監 事 柴田十郎, 乳井安太郎, 樋口久雄 |
| 理 事 | 渡部綱次, 羽賀春吉, 成田原 |      |                       |

## ユーゴスラビアを 旅して 市長 佐藤敬治

去る6月10日から8日間全国市長会から急に派遣をいわれたされ、ユーゴスラビアの首都、ベオグラードで開催された第17回地方自治体国際会議に出席のため渡欧して参りました。

一昨年の欧米視察に引きつづき2回目の外遊でありましたので気楽な気持ちで、ユーゴスラビアの姿を心ゆくまで見てきました。

ユーゴスラビアは、共産国でもあり、また、観光ルートになっていないせいもあって、日本ではあまり知られていない国の一つですが、ただ、チトー大統領が支配する国であるといえば、ほとんどの方々は、ある程度うなづけることと思います。

ユーゴスラビアは、面積にして、日本の本州と、四国を合せたくらいで、人口は、およそ1,800万人ということですから非常に人口密度のひくい国です。

気候、風土は北海道とよく似ており、広漠とした平野には、ポプラ、菩提樹などが多く繁り、いかにもヨーロッパらしい風景がくり広げられていました。

しかし、この風土の美しさに比して、同国に住む人々は非常に貧しい生活を送っており、とくに農村地帯はひどく、日本の大正時代を思わせるような生活様式でした。農家には、土地改革により、1戸平均10ヘクタールの農地が与えられていますが、農作業は、ほとんど機械化

されておらず、昔、日本で使っていた、スキとか、クワのような機具を用い、のんびりと働いている状態です。

このように、農業は、合理化にふみきっていないため、同国の農業生産は低く1962年の統計では年間わずかに350万トンの小麦しか生産出来なく、不足分(150万トン)はすべてアメリカから輸入している現状でした。

一方、一般の企業はどうかといえば、異例なことに、五人以下の企業は個人がやっていいことになっており、5人以上の場合は、一般市民は出資をすることができるが、経営には一切タッチ出来なく、経営はすべて労働者にまかされております。政府はこれらの企業には一切タッチしませんが、ただ、企業が商取引上合法的なものであるかを監視するだけであるので、この国には破産ということもあり、共産国としては非常に変わっている国です。

こうしたことから考えてみても、ユーゴは、ソ連の中央集権官僚統制的な行き

方とちがって、官僚統制がないため、国民は貧乏しているにもかかわらず、非常にのんびりした国民性をもっています。

ちなみに彼らの生活にふれてみても、同国の労働時間は、朝7時から午後2時までを休みなく働らき、その後は昼寝をし、夕方になるとまち中の人々が散歩や雑談のため家をでて夜中までなにをするともなく遊びまわっております。とにかく、意外なほどのんびりした国民でした。

西欧諸国の都市計画はどこでもすばらしいものがありますが、とくに、ベオグラードは公園のまちといわれるだけあって、いたるところに大きな公園があり、道わきには、とどまることを知らない街路樹が高々と何物にわたって繁っており、とにかく美しいまちであり、私も大いに勉強になりました。

とにかく政治はチトー、経済はジョンソンといわれる特異な共産国ではありましたが、国民性などは大いに学ぶ点があり、私にとっても有意義な旅の一つでありました。



(写真は、ベオグラードの無名戦士の記念碑にて、まちの子どもたちにかこまれご満えつの市長)